

平成 30 年度事業報告

公 1	医学医療の発展普及と公衆衛生の向上を図り地域社会に貢献する事業
-----	---------------------------------

[概要と実績（平成 30 年度）]

1. 医学医療の発展普及を図る事業の概要

医学医療の発展普及を図るため、市民向けの講演会・公開講座などを行った。また、地域の医師に対して学術講演などを行った。

(1) 講演会・公開講座

地域医療の発展普及を図るため、市民向けの講演会・公開講座を開催した。

<実績>

ア) 市民公開講座

平成 30 年 9 月 15 日

演 題：中高齢者の膝の痛み ～痛みが出る仕組みと悪化させないコツ～

講 師：福井尚志先生（東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授・整形外科専門医）

会 場：東村山市サンパルネコンベンションホール

参加者：175 名

平成 31 年 2 月 7 日

「大腸がんの早期発見と治療」

演 題：こんな症状の方は、大腸カメラ検査を受けましょう

講 師：松谷憲政（まつたに内科クリニック院長）

演 題：大腸における ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）について

講 師：四宮 航先生（多摩北部医療センター消化器内科医員）

会 場：東村山市サンパルネコンベンションホール

参加者：80 名

イ) 講演会講師派遣

平成 30 年 7 月 5 日 恩多町保健推進員会健康講座

演 題：『がん』ってどんな病気？

講 師：高山卓也

参加者：132 名

平成 30 年 9 月 29 日 くめがわ町保健推進員会健康講座

演 題：「健康よもやま話～認知症を考えよう!!～」

講 師：黒田克也

参加者：36 名

平成 30 年 10 月 18 日 秋津町保健推進員会健康講座

演 題：訪問診療と看取りについて

講 師：磯部建夫

参加者：57名

平成30年12月8日 富士見町保健推進員会健康講座

演題：「健康よもやま話 in 富士見町～健康寿命の延伸～」

講師：黒田克也

参加者：45名

平成31年2月21日 恩多町保健推進員会健康講座

演題：肺炎について ～知識と予防～

講師：久保秀樹

参加者：55名

<財源> 負担金収入、特別会費収入

(2) 健康教育・健康相談

地域医療へ協力・貢献するため、市民向けの医療相談などを行った。

<実績>

ア) 医療相談 (いきいきプラザ)

平成30年度年間 15回 相談者 32名

イ) 市民健康のつどい (いきいきプラザ)

平成30年11月10日～11日

・医療相談 相談者 15名

・在宅療養についての相談 相談者 95名

ウ) 医師会内医療相談窓口

相談件数 7件

<財源> 負担金収入、特別会費収入

(3) 学術講演会

医師の生涯教育及び病院と診療所の連携を図る目的で、講演会や意見交換会を開催した。

<実績>

ア) 主催した講演会

平成30年4月26日

演題：糖尿病診療に SGLT2 阻害剤を活かす～知見と私見からの考察～

講師：梶田 出先生 (武田病院健診センター所長・京都大学医学部臨床教授)

参加者：23名

平成30年5月24日

演題：不整脈診療における健診心電図と病診連携

講師：永田恭敏先生 (武蔵野赤十字病院循環器科副部長)

参加者：15名

平成30年6月6日

演題：咳嗽からみた呼吸器疾患診断－喘息の診断的治療の仕方－

講師：尾形英雄先生 (公益財団法人結核予防会複十字病院副院長)

参加者：18名

平成30年7月5日

演 題：慢性便秘の治療－新しいガイドラインを中心に－

講 師：久松理一先生（杏林大学医学部附属病院消化器内科教授）

参加者：20名

平成30年10月31日

演 題：針刺し切創、血液体液暴露について

講 師：鈴木亜希氏（東京都保健医療公社多摩北部医療センター感染管理認定看護師）

参加者：36名

平成30年11月22日

演 題：safetyとqualityを重視した2型糖尿病治療 ～「今」と「未来」を考える～

講 師：阿部一朗先生（福岡大学筑紫病院内分泌・糖尿病内科講師）

参加者：23名

平成30年11月29日

演 題：警視庁OBが語る院内暴力対応の実際 ～患者はなぜ怒る クレーム・暴力の対応～

講 師：横内昭光氏（東京海上日動メディカルサービス（株）審査企画部メディカルリスクマネージメント室顧問）

参加者：64名

平成30年12月6日

演 題：不明熱と膠原病に伴う皮膚病変～日常診療で膠原病を疑うとき～

講 師：大島美穂先生（東京都保健医療公社多摩北部医療センターリウマチ膠原病科医長）

参加者：17名

平成31年1月24日

演 題：超高齢化時代の糖尿病治療アルゴリズム

講 師：犬飼浩一先生（東大和病院糖尿病センター長・副院長）

参加者：17名

平成31年2月14日

演 題：依存症とうつについて～アルコール、薬物、ギャンブル、ネット、性依存、万引き～

講 師：榎本 稔先生（榎本クリニック理事長）

参加者：38名

平成31年3月14日

演 題：実地医家からみた酸関連疾患の知見

講 師：津久井充広先生（津久井内科おなかクリニック）

参加者：16名

イ) 他市医師会と共催した講演会

平成30年4月19日

演 題：血管外科領域疾患の最近の治療について

講 師：宮原拓也先生（公立昭和病院心臓血管外科担当部長）

参加者：24名

平成30年5月17日

演 題：リンの考察

講 師：角田隆俊先生（東海大学医学部附属八王子病院腎代謝内科教授）

参加者：39名

平成 30 年 6 月 14 日

演 題：COPD の病態と治療、その最新情報～ガイドライン第 5 版を参照しながら～

講 師：桑平一郎先生（東海大学医学部附属東京病院呼吸器内科教授）

参加者：19 名

平成 30 年 7 月 26 日

演 題：不眠症の薬物療法の注意点ーとくに睡眠薬の使い方とやめ方ー

講 師：伊藤敬雄先生（小平仲町クリニック院長）

参加者：29 名

平成 30 年 9 月 13 日

演 題：改定された心不全ガイドラインと心不全医療提供体制の変革

講 師：磯部光章先生（公益社団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院院長）

参加者：29 名

平成 30 年 10 月 11 日

演 題：インフルエンザの臨床と免疫および新規抗インフルエンザ薬への期待

講 師：廣津伸夫先生（廣津医院院長）

参加者：46 名

平成 30 年 10 月 18 日

演 題：地域で診る糖尿病

講 師：大黒晴美先生（公立昭和病院糖尿病・内分泌内科担当部長）

演 題：糖尿病の病態と治療の進め方～J-DOIT 3 から学ぶもの～

講 師：門脇 孝先生（東京大学大学院医学系研究科糖尿病・生活習慣病予防講座特任教授、
帝京大学医学部常勤客員教授）

参加者：47 名

平成 30 年 11 月 8 日

演 題：咳喘息の治療で難渋した際の strategy

講 師：大谷義夫先生（池袋大谷クリニック院長）

参加者：23 名

平成 31 年 1 月 24 日

演 題：睡眠と身体疾患

講 師：伊藤敬雄先生（小平仲町クリニック院長）

参加者：28 名

平成 31 年 2 月 21 日

演 題：脳卒中診療の変遷

講 師：上田雅之先生（東京都立多摩総合医療センター神経・脳血管内科部長）

参加者：20 名

平成 31 年 3 月 7 日

演 題：薬剤耐性問題と抗菌薬適正使用

講 師：小田智三先生（公立昭和病院感染症科・感染管理部部長事務代理）

参加者：24 名

ウ) 新山手病院症例検討会

平成 30 年 4 月 20 日

第 328 回 消化器カンファランス

講 師：丸山正二

参加者：18 名

平成 30 年 5 月 18 日

第 329 回 呼吸器カンファランス

講 師：井上ゆづる

参加者：15 名

平成 30 年 6 月 15 日

第 330 回 循環器カンファランス

講 師：中村健太郎

参加者：15 名

平成 30 年 7 月 20 日

第 331 回 消化器カンファランス

講 師：丸山正二

参加者：16 名

平成 30 年 9 月 21 日

第 332 回 呼吸器カンファランス

講 師：井上ゆづる

参加者：15 名

平成 30 年 10 月 19 日

第 333 回 循環器カンファランス

講 師：中村健太郎

参加者：13 名

平成 30 年 11 月 16 日

第 334 回 消化器カンファランス

講 師：丸山正二

参加者：14 名

平成 30 年 12 月 21 日

第 335 回 呼吸器カンファランス

講 師：井上ゆづる

参加者：16 名

平成 31 年 1 月 18 日

第 336 回 循環器カンファランス

講 師：中村健太郎

参加者：15 名

平成 31 年 2 月 15 日

第 337 回 消化器カンファランス

講 師：丸山正二

参加者：15 名

<財源> 北多摩医師会補助金収入、特別会費収入

(4) 東村山市報コラム掲載

より多くの市民が医療に関する知識を得られるよう、市が発行する市報にコラムを掲載した。

<実績>

5月号 在宅医療とは？

8月号 子宮腺筋症

9月号 ピンクリボンのお話

11月号 「フレイル」に気を付けましょう

1月号 高齢関節リウマチの特徴

3月号 パーキンソン病について

<財源> 負担金収入、北多摩医師会補助金収入

2. 公衆衛生の向上を図り地域社会に貢献する事業の概要

公衆衛生の向上を図り地域社会に貢献すべく、学校保健への参加、医療連携を積極的に行い、健康診断、予防接種などを、主に東村山市から受託した。

(1) 学校保健に関する定期健康診断等

市内の乳幼児及び小中学生・高校生について、定期健康診断を行った。また、学校保健に関する保健大会・講演会等を開催した。

<実績>

ア) 定期健康診断

・3～4か月児健康診査 966件

・1歳6か月児健康診査 1,064件

・3歳児健康診査 1,163件

・東村山市立小・中学校定期健康診断（平成30年4～6月）

・東村山市立小学校就学時健康診断（平成30年10～11月）

・都立東村山高等学校、都立東村山西高等学校定期健康診断（平成30年4月）

・東村山市立保育園定期健康診断

・小児期生活習慣病予防健診（平成30年8月1日～9月14日）

東村山市立小学校4年 受診率 27%

東村山市立中学校1年 受診率 17.8%

イ) 各種大会および講演会

平成30年6月23日 第37回学校保健大会

演題：親子の健康な身体づくり

～ストレッチで親子の生活習慣病予防～

講師：秋元尚枝氏（保健学博士・肥満予防健康指導士・埼玉医科大学国際医療センター非常勤講師・城西大学薬学部非常勤講師）

参加者：63名

平成30年12月1日 学校保健会全体研修会・東村山市医師会市民公開講座

演題：子どもの健康 ―最近の話題を中心に―

講師：川村陽一先生（防衛医科大学校病院小児科）

参加者：63名

<財源> 受託事業収入、特別会費収入

(2) 園医・学校医

市内の保育園・幼稚園、各学校の生徒や教師の健康維持を支援し、公衆衛生の向上を図るため、園医・学校医を派遣した。

<実績> 市内保育園・幼稚園、各学校

<財源> 特別会費収入

(3) 特定健診等事業

40歳以上を対象に、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健康診査及び保健指導を実施した。

<実績>

- ・東村山市 特定健診 11,861件、後期健診 10,277件、健康診査 326件
特定保健指導（動機付け支援初回 99件、積極的支援初回 22件）
糖尿病性腎症重症化予防事業 12件
- ・小平市 特定健診 96件、後期健診 79件、一般健診 25件
- ・集合契約 被用者保険 260件、国保組合 126件

<財源> 受託事業収入、特別会費収入、事務手数料収入、補助金収入（特定健診データ入力料）

(4) がん検診

現代社会においてもっとも大きな死因の一つであるがんを予防・早期発見するため、がん検診を行った。さらに、必要に応じて精密検査も行い、より正確な病状把握と効果的な治療を目指した。

<実績>

- ・肺がん検診 219件（要精検 9件）
- ・乳がん検診 1,229件（要精検 250件）
- ・子宮がん検診（頸部） 1,330件（要精検 36件）
- ・胃がんリスク検診 281件（要精検 73件）

<財源> 受託事業収入、特別会費収入、事務手数料収入

(5) 個別予防接種並びに11市予防接種乗入れ

東京都11市予防接種対策協議会と一般社団法人北多摩医師会との協定書及び東久留米市との契約に基づき、東村山市などから受託し、東村山市民、北多摩医師会傘下の市（昭島市、東大和市、国分寺市、国立市、狛江市、清瀬市、武蔵村山市）、立川市、小金井市、小平市及び東久留米市の住民を対象に、予防接種を行った。

また、市民の利便性を図るため、東村山市で実施している定期予防接種及び高齢者インフルエンザ予防接種は、すべて北多摩医師会傘下の市と立川市、小金井市、小平市及び東久留米市の計12市で相互乗入れしている。

<実績>

- ・日本脳炎 4,886件
- ・第2期ジフテリア・破傷風 1,006件

- ・麻しん・風しん混合 第1期 976件、第2期 1,064件
- ・四種混合 3,675件
- ・不活化ポリオ 12件
- ・小児用肺炎球菌 3,542件
- ・ヒブワクチン 3,524件
- ・子宮頸がん 9件
- ・先天性風しん症候群対策 1,155件
- ・水痘 1,873件
- ・B型肝炎ウイルス 2,570件
- ・区域外小児予防接種 1,867件
- ・高齢者インフルエンザ 12,372件
- ・区域外高齢者インフルエンザ 1,283件
- ・高齢者肺炎球菌 2,990件

<財源> 受託事業収入、特別会費収入、事務手数料収入

(6) 休日応急診療所・休日準夜応急診療所

休日応急診療所事業に賛同し、積極的に協力した。東村山市からの要請に応え、休日応急診療所として会員医療機関である緑風荘病院が行っている。また、東村山市が運営する休日準夜応急診療所（いきいきプラザ）に会員医師が出動した。

<実績>

- ・休日応急診療所事業 年間 73日 受診者 1,669名
- ・休日準夜応急診療所事業 年間 72日 受診者 619名（いきいきプラザ）

<財源> 受託事業収入、特別会費収入

(7) 眼科検診

眼科疾患の中でも失明の危険のある糖尿病網膜症、緑内障等の眼科疾患の早期発見・早期治療を目的に、市民の健康増進また失明から市民を守る為、眼科検診を実施した。

<実績>

490件（要精検 80件）

<財源> 受託事業収入、特別会費収入、事務手数料収入

(8) 災害医療対策

大規模災害発生時において、円滑に医療機能の確保を行えるよう災害医療体制の一層の充実を図ることを目的とし事業を行った。東村山市災害医療連絡会へ参加し、行政・歯科医師会・薬剤師会・柔道整復師会との連携を図った。また、緊急医療救護所において救護所設置訓練を中心としたトリアージ訓練・救急搬送訓練に参加した。

<実績>

ア) 東村山市緊急医療救護訓練

準備会 平成30年10月23日

防災訓練 平成30年10月28日 訓練会場 緑風荘病院

イ) 災害対策の為の携帯電話宛てメール一斉配信テスト

第1回 平成30年8月23日

ウ) 東村山市災害医療連絡会

第1回 平成30年12月21日

エ) 災害医療対策委員会

第1回 平成31年1月29日(病院部合同)

オ) 東村山市総合震災訓練 平成30年10月14日

訓練会場 東村山市立第一中学校

カ) 東京都災害医療図上訓練

事前説明会 平成30年12月20日 公立昭和病院

災害医療図上訓練 平成31年2月3日 公立昭和病院

<財源> 受託事業収入、特別会費収入

(9) 在宅医療連携推進事業

医療と介護の関係者が、ICT(情報通信技術)を活用し効果的に情報を共有しながら、連携して在宅療養患者を支えるネットワーク体制の構築を行った。

また、東村山市からの要請に応え在宅療養支援窓口ごとに担当する医師(助言担当医)を推薦し、在宅療養支援窓口からの医療等に関する相談に対応した。

<実績>

ア) 東村山市多職種ネットワーク構築事業

・参加機関40か所 160名

・東村山市カナミックネットワークミーティング

平成30年12月4日

平成31年3月1日

イ) 在宅医療連携推進事業

・5在宅療養支援窓口でH30年4月～H31年3月実施

<財源> 東村山市補助金収入、特別会費収入

[根拠法令]

・健康増進法

・介護保険法

・高齢者の医療の確保に関する法律

・母子保健法

・学校保健法

・予防接種法

他 1	相互扶助等事業
-----	---------

[概要]

1. 医業経営の情報提供・合理化を図る事業の概要

(1) 保険についての研修会

平成 30 年度中の開催なし

2. 会員の相互扶助及び福祉増進

(1) 広報

・東村山市医師会ニュースを発行

第 390 号 平成 30 年 5 月 1 日

第 391 号 平成 30 年 7 月 20 日

第 392 号 平成 30 年 11 月 30 日

第 393 号 平成 31 年 1 月 1 日

第 394 号 平成 31 年 2 月 15 日

・会報発行 第 48 号 平成 31 年 3 月 26 日

(2) 会員・会員家族の慶弔

会員・会員家族の慶弔に対し、祝い金・見舞金を給付。

(3) 研修会

ア) 新年会

ハイアットリージェンシー東京 27 階「スプレnder」

平成 31 年 1 月 19 日

イ) 観劇会

ミュージカル『リトル・ナイト・ミュージック』日生劇場

平成 30 年 4 月 22 日

(4) 研修旅行

国宝迎賓館赤坂離宮見学、お台場・浜離宮恩賜庭園・東京タワー夜景散策

平成 30 年 12 月 2 日

<財源> 定額会費収入、入会金収入、負担金収入